

生田緑地におけるみどりとアートの 連携について

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



実施報告（秋開催）

①東京藝術大学の特任教授や学生などによる生田緑地会場の風景をモチーフとした「作品」の制作

②生田緑地の景色をスケッチする「ワークショップ」を実施

実施日 : 11月9日（土）、10日（日）

実施場所 : 中央広場テント

内容 : 普段藝大生が使用しているイーゼルや画材を使って参加者が自由に場所を選んで生田緑地の風景を描く。教授や藝大生から、普段聞けない裏話やスケッチについて本格的なアドバイスを貰えるなど、参加者も大満足なイベントとなった。



実施報告（秋開催）

③「花風車をつくろう！」ワークショップ

実施日 : 11月2日（土）、3日（日）

実施場所 : 2日⇒科学館学習室、3日⇒中央広場テント

内容 : 子ども達がアートを「知って、関わって、好きになる」きっかけづくりとして、東京藝術大学デザイン科の教員と学生がデザインしたお花の形をモチーフとした風車の型紙とビーズやストローなどの材料を組み合わせ、学生のレクチャーのもと、オリジナルの花かざぐるまをつくるワークショップを実施。事前に準備した材料が全てなくなってしまうなど、大盛況であった。



実施報告（秋開催）

④ウエルカムゲート（竹灯籠・アーチの回廊）のインスタレーション

生田緑地会場の始まりを告げる入り口のシンボリックな竹アーチの仕上げとして、装飾をデザイン

竹のエントランスゲート

Bamboo Entrance Gate

多様な生命が息づく森の世界に入り込む境界線

Gateway towards a world of woodlands
where diverse lifeforms lives and breaths



緑地内に繁茂する竹林の健全な管理のため、除伐した竹材を制作に用いています

Bamboo that was cut down for the purpose of the healthy management of the bamboo forest is used in the production of this work.



地域の大学生、小学生を含む「かわさきあかり」のみなさんが制作しました

The work was created by members of "Kawasaki Akari", which includes local university students and elementary school students.



3600枚の揺らめく布のインスタレーションは、東京藝術大学とのコラボレーションで制作しています

The 3600 pieces fabric installation was created in collaboration with Tokyo University of the Arts.



実施報告（秋・春開催）



●事業主体

・川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

●事業スキームと事業費

（事業スキーム） 委託

（委託事業費）

①東京藝術大学の特任教授や学生などによる生田緑地会場の風景をモチーフとした「作品」の制作

②生田緑地の景色をスケッチする「ワークショップ」を実施）×3回

③花風車をつくろう！ワークショップ × 3回

④ウェルカムゲート（竹灯籠・アーチの回廊）のインスタレーション

⑤管理費

⑥間接経費

小計

消費税(10%)

合計

2,280,000円

1,700,000円

300,000円

856,000円

5,136,000円

513,600円

5,649,600円